



2021年3月期  
第3四半期  
決算説明資料

2021年2月5日  
株式会社 セブン銀行

## Today's Agenda

1

2021年3月期 第3四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

1

2021年3月期 第3四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

## Today's Agenda

2021年3月期 第3四半期決算

➤ **連結・単体**（セブン銀行）ともに経常項目で減収・減益

2021年3月期 年度計画

➤ **連結・単体**ともに年度計画に変更なし

- 年度計画（2020年8月開示）を想定線で推移
- 2021年1月に緊急事態宣言が再発出（首都圏1都3県より対象拡大）  
当社事業への影響度は不透明

2021年3月期 配当予想

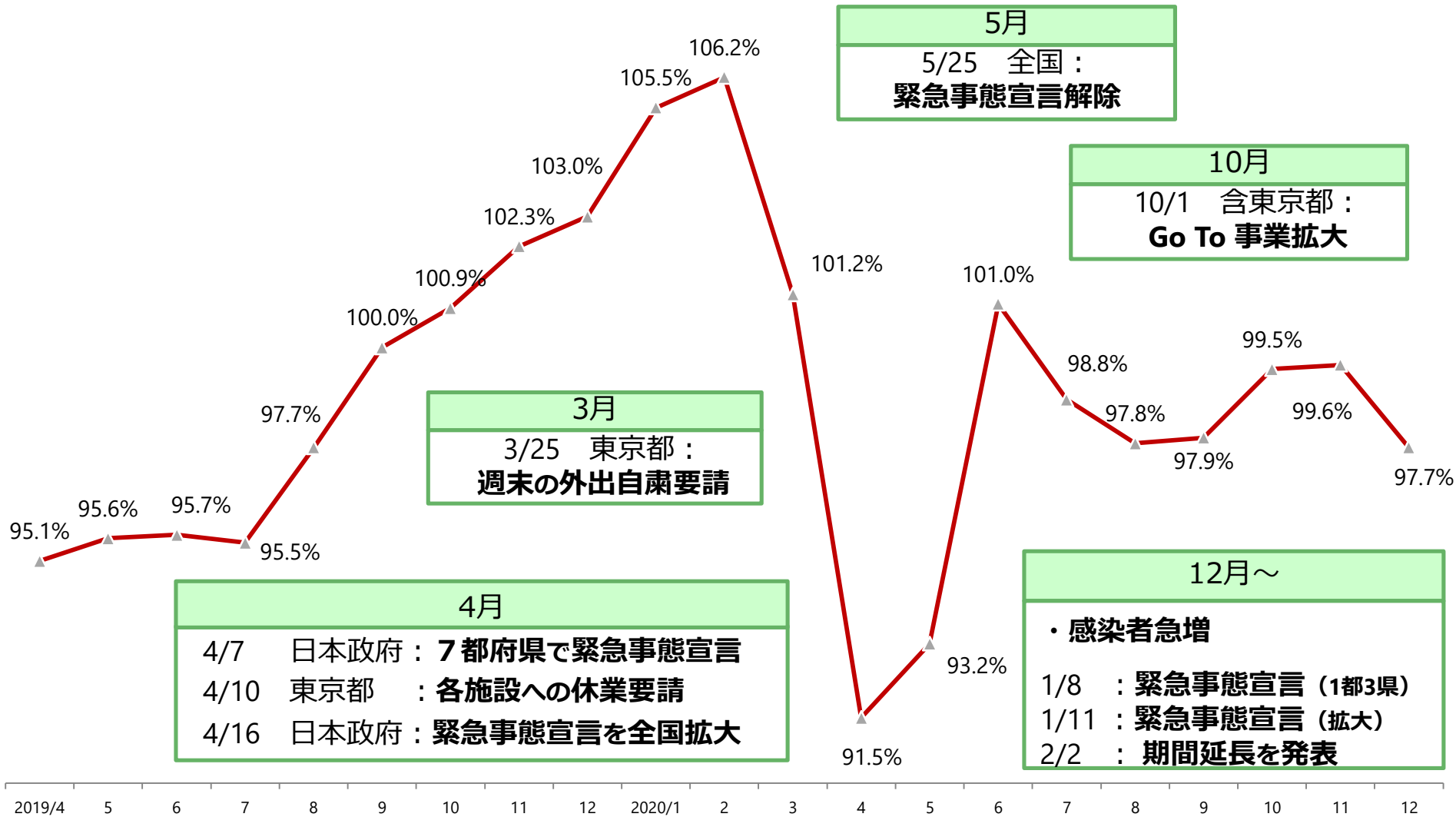
➤ **当初計画**より変更なし

- 期末配当予想は5.50円（中間配当実績5.50円を加え年間11円）を計画

# <参考> 新型コロナウイルス感染症の影響

## ATM利用平均件数 前年同月比

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を主因に足元では数値悪化



# 損益状況 <連結>

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	通期計画
経常収益	1,123	<b>1,040</b>	△83	1,342
経常費用	807	<b>752</b>	△55	1,013
経常利益	315	<b>287</b>	△28	328
純利益	207	<b>213</b>	6	230

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2020年3月期第3四半期実績 = 109.12円、2021年3月期第3四半期実績 = 107.55円、2021年3月期計画 = 108.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

# 損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	通期計画
経常収益	910	<b>843</b>	△67	1,098
うちATM受入手数料	824	<b>751</b>	△73	980
経常費用	558	<b>568</b>	10	773
経常利益	351	<b>274</b>	△77	324
特別損失	30	<b>0</b>	△30	0
法人税等合計	98	<b>83</b>	△15	99
純利益	222	<b>189</b>	△33	224
EBITDA	454	<b>370</b>	△84	455
期末ATM設置台数 (台)	25,207	<b>25,548</b>	341	25,515
ATM受入手数料単価 (円)	131.9	<b>123.1</b>	△8.8	124.0
平均利用件数 (件/台/日)	92.2	<b>89.9</b>	△2.3	87.5
総利用件数 (百万件)	638	<b>624</b>	△14	807

注) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

# 損益状況 <FCTI>

(単位：百万米\$)

	2019年12月期	2020年12月期		
	第3四半期累計 実績 (1-9月)	第3四半期累計 実績 (1-9月)	前年差異	通期計画
経常収益	192.3	<b>175.8</b>	△16.5	213.0
経常費用	190.1	<b>156.3</b>	△33.8	194.4
経常利益	2.2	<b>19.5</b>	17.3	18.6
純利益	2.3	<b>20.6</b>	18.3	20.5
EBITDA	7.3	<b>24.5</b>	17.2	25.5

期末ATM設置台数 (台)	11,948	<b>9,485</b>	△2,463	8,640
うちSEI設置台数	8,424	<b>8,570</b>	146	8,640
平均利用件数 (件/台/日)	42.9	<b>48.1</b>	5.2	46.5
うちSEI設置	55.7	<b>56.6</b>	0.9	52.6
総利用件数 (百万件)	144.7	<b>138.7</b>	△6.0	171.5

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) FCTI社の資金調達費用 = ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

注3) 2020年12月末時点のATM台数(速報値) SEI内：8,553台、 SEI外：815台



1

2021年3月期 第3四半期決算

2

事業戦略の進捗状況

3

Appendix

## Today's Agenda

# 本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

## Withコロナを見据えた対応

コロナ禍を機に変化が加速

リモート・非対面

キャッシュレス

オンライン

デジタル

多様な選択肢が求められる世界

将来の成長に不可欠な施策をスピード感持って着実に積み上げ

### 既存事業の更なる進化

#### ATMプラットフォーム事業の更なる強化

- ・キャッシュレス化に対応した、新たなATM利用スタイルを創造
- ・ATM運営受託の推進

#### 『ATM+』の世界を開拓

- ・現金を超えたサービスの実現
- ～マイナポイント申込みに対応

**ATM+**

### 新たな事業領域の拡大

国内事業  
重点領域

個人

海外事業

BPO

居住外国人

ATM事業拡大

セキュリティ

法人

新事業

下線付き施策の進捗状況を次頁以降で紹介

国内金融機関の業務改革（効率化）への貢献

「ATMプラットフォーム」と「事業運営で培った知見」



セブン銀行

➤ 金融機関からのATM運営受託の推進

- ・ 東京スター銀行より62台受託（2020年12月末時点）
- ・ 受託台数：2020年3月末235台→9月末285台→12月末330台



セブン銀行の100%子会社  
バンク・ビジネスファクトリー

➤ 金融事務のデジタル化、BPOを推進

- ・ マネロン対策、オンライン口座開設の共同利用型サービス提供
- ・ 外部受託社数：2020年3月末23社 → 12月末30社

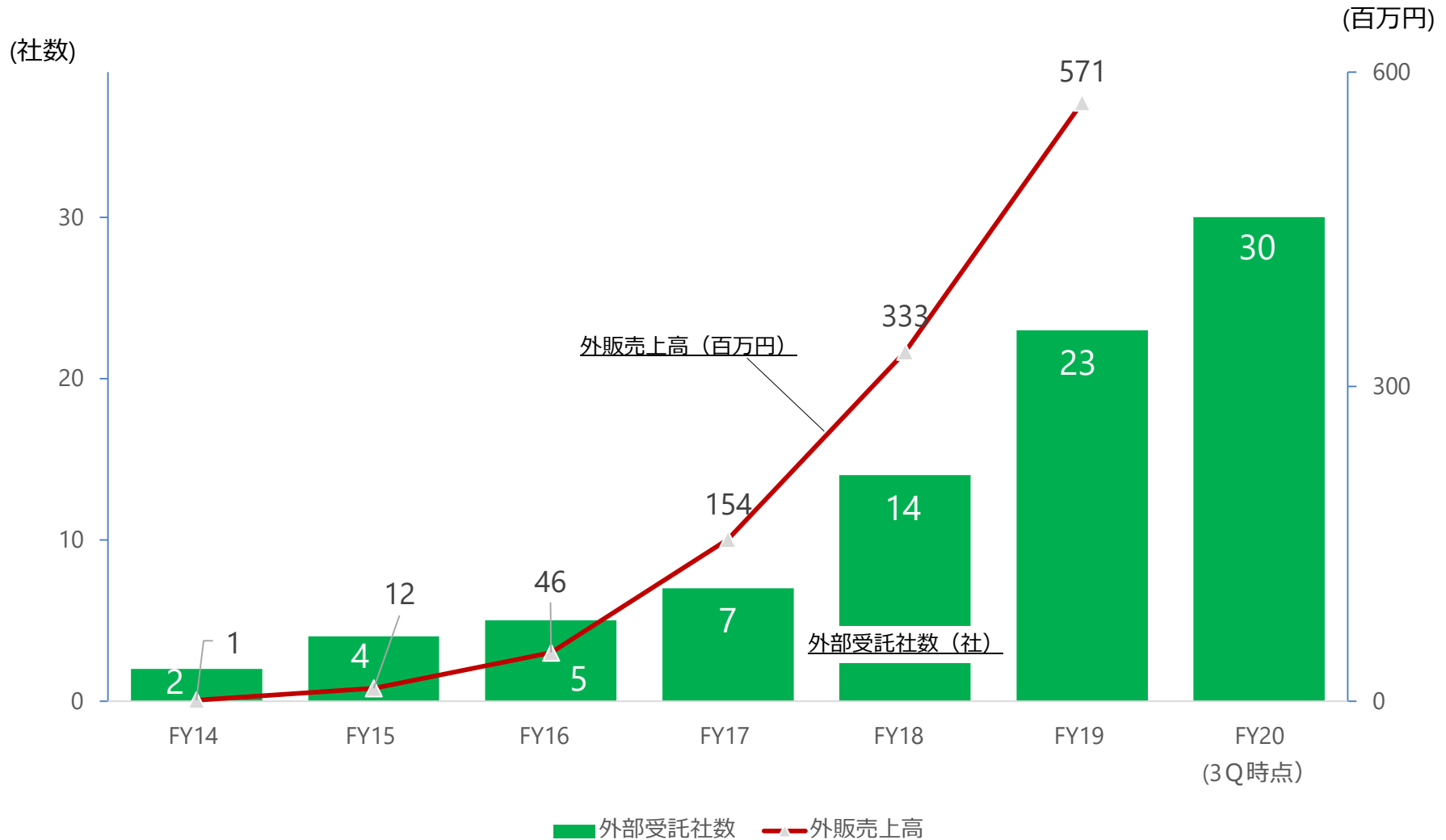


➤ 不正検知、本人認証ビジネス

- ・ 精度の高い本人認証・不正検知を通じた金融犯罪防止
- ・ 静岡銀行、山陰合同銀行の本人認証サービス導入

## 外部受託社数と外販売上高の推移

外販売上高 (右目盛)  
外部受託社数 (左目盛)



## 居住外国人の生活利便性向上

### 「海外送金サービス」と「与信サービス」

の複合サービスで金融インフラ面の新たな価値提供



#### ➤ 年間120万件超の海外送金実績

- ・ ATM画面、スマホアプリ、カスタマーセンターでの9言語対応
- ・ フィリピンBDO Unibank, Inc.との提携によるスマートフォン送金



#### ➤ 技能実習/特定技能をターゲットにした海外送金

- ・ メインターゲットとなる東南アジアへネットワークを拡充
- ・ 2021年春、シンガポールDBS Bank Ltd との提携サービス開始予定



#### ➤ 居住外国人向け与信等のサービス提供

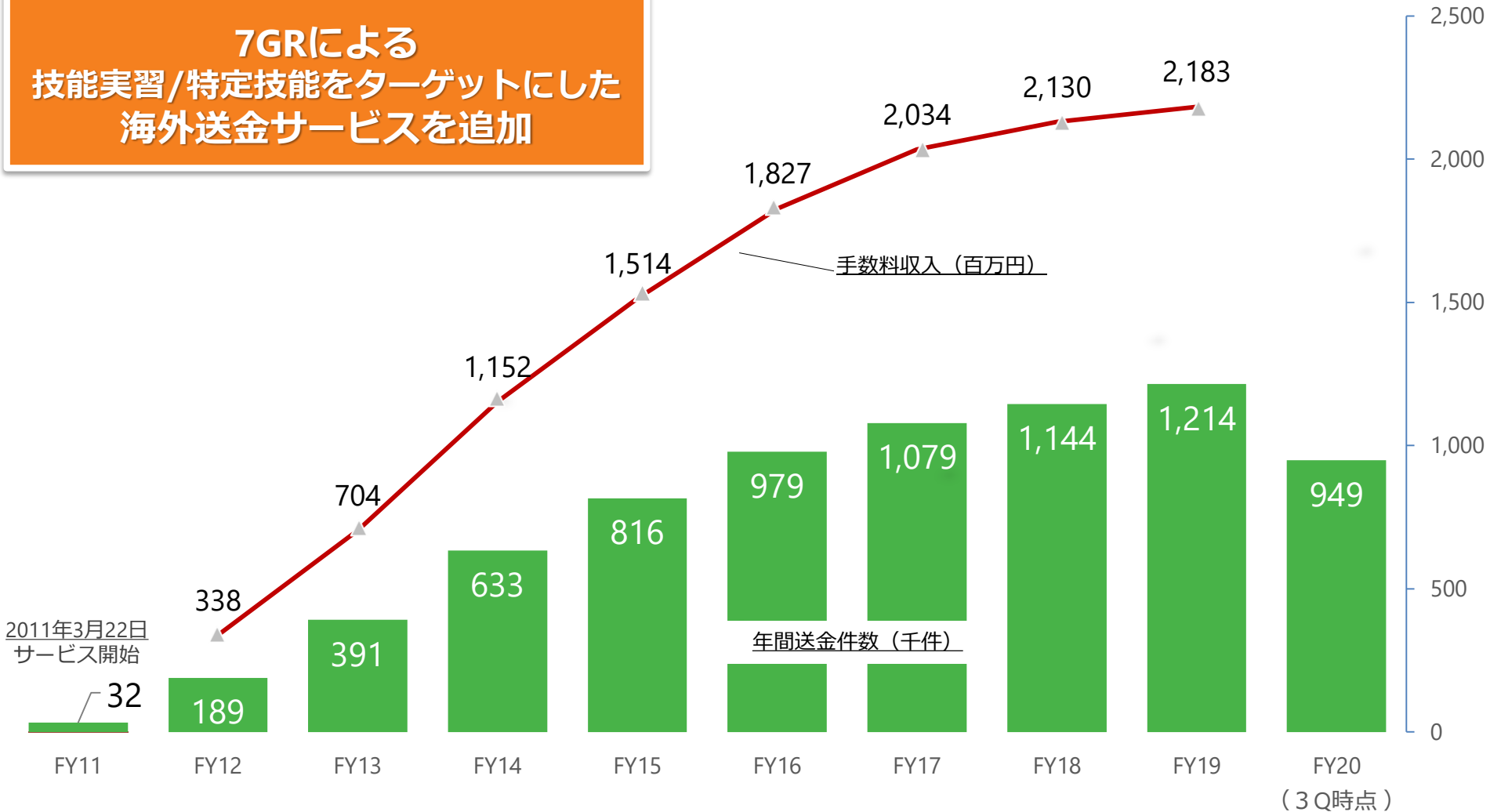
- ・ 当社の外国人顧客基盤 + 新生銀行グループの個人向け与信ノウハウ
- ・ 今期「Sandy Credit Card」「Sandy Personal Loan」販売開始

# 海外送金サービス<セブン銀行>

## 海外送金サービス利用件数と手数料収入の推移

<2021年春サービス開始予定>

**7GRによる  
技能実習/特定技能をターゲットにした  
海外送金サービスを追加**



## グローバル市場開拓への取組み

「展開エリアの状況に応じたATM運営能力」と  
「7&iのグローバル店舗ネットワーク」



➤ **米国で9,368台のATM運営実績** (2020年12月末時点)

- ・ 米国本土のセブン-イレブン店舗数9,283店 (2020年9月末時点)
- ・ 現地ニーズに対応した新金融サービスの試行準備



➤ **インドネシアで730台のATM運営実績** (2020年12月末時点)

- ・ 銀行口座保有率は向上、高いATM需要 (20年度平均82.8件/台/日)
- ・ 地場CVSを中心に、20年度で530台純増



➤ **フィリピンで2021年2月よりATM設置開始予定**

- ・ フィリピンのセブン-イレブン店舗数2,960店 (2020年9月末時点)
- ・ 紙幣還流型ATMでの設置展開開始を検討

# 米国ATM 計数 <FCTI>

## ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の推移



注1) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

注2) FY20 4Qは速報値



# インドネシアATM 計数 <ATMi>

## ATM台数と平均利用件数の推移

平均利用件数 (右目盛)  
ATM台数 (左目盛)



注1) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

注2) FY20 4Qは速報値

注3) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む

1

2021年3月期 第3四半期決算

2

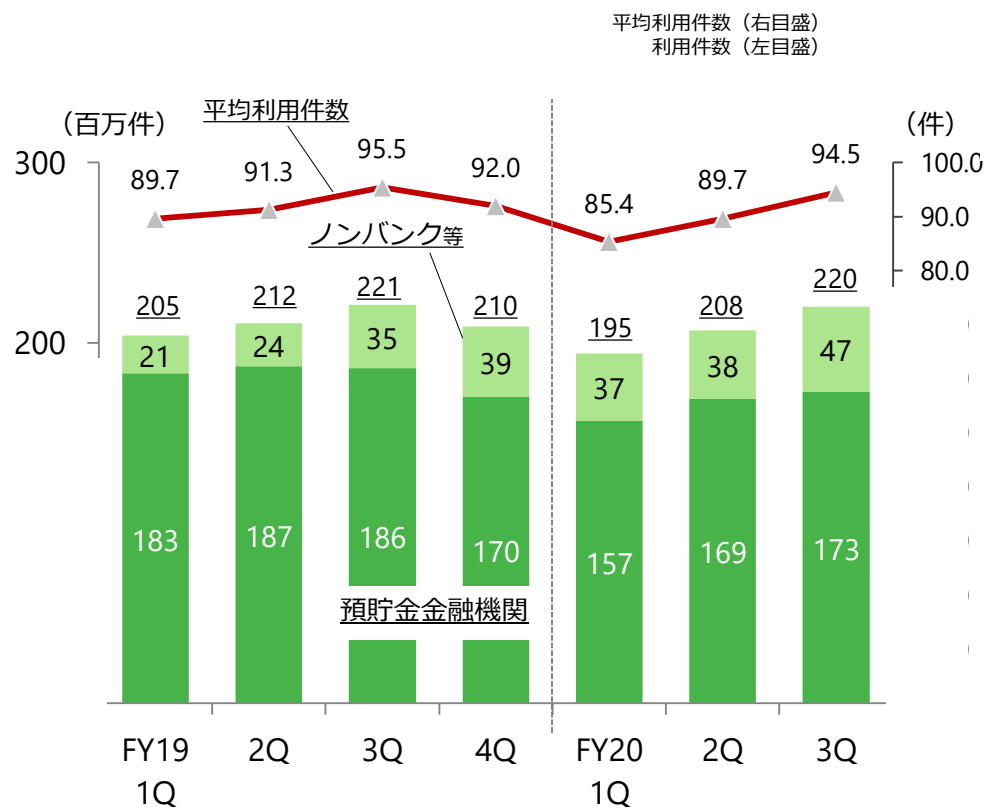
事業戦略の進捗状況

3

Appendix

## Today's Agenda

## ATM利用件数と平均利用件数の推移



## ATM台数の推移



注1) ATM利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず  
 注2) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計  
 注3) 2021年3月期\_第3四半期期間のATM受入手数料単価120.9円  
 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

# 事業会社取引 (●●Pay)

## ATMプラットフォーム事業の更なる強化

- キャッシュレスを支える安心・安全なサービスとして高評価
- 一定のサービス認知を獲得、2020年12月のコロナ感染拡大期にも利用加速

## 事業会社 取引件数推移

2019年9月の利用件数を基点とした推移グラフ

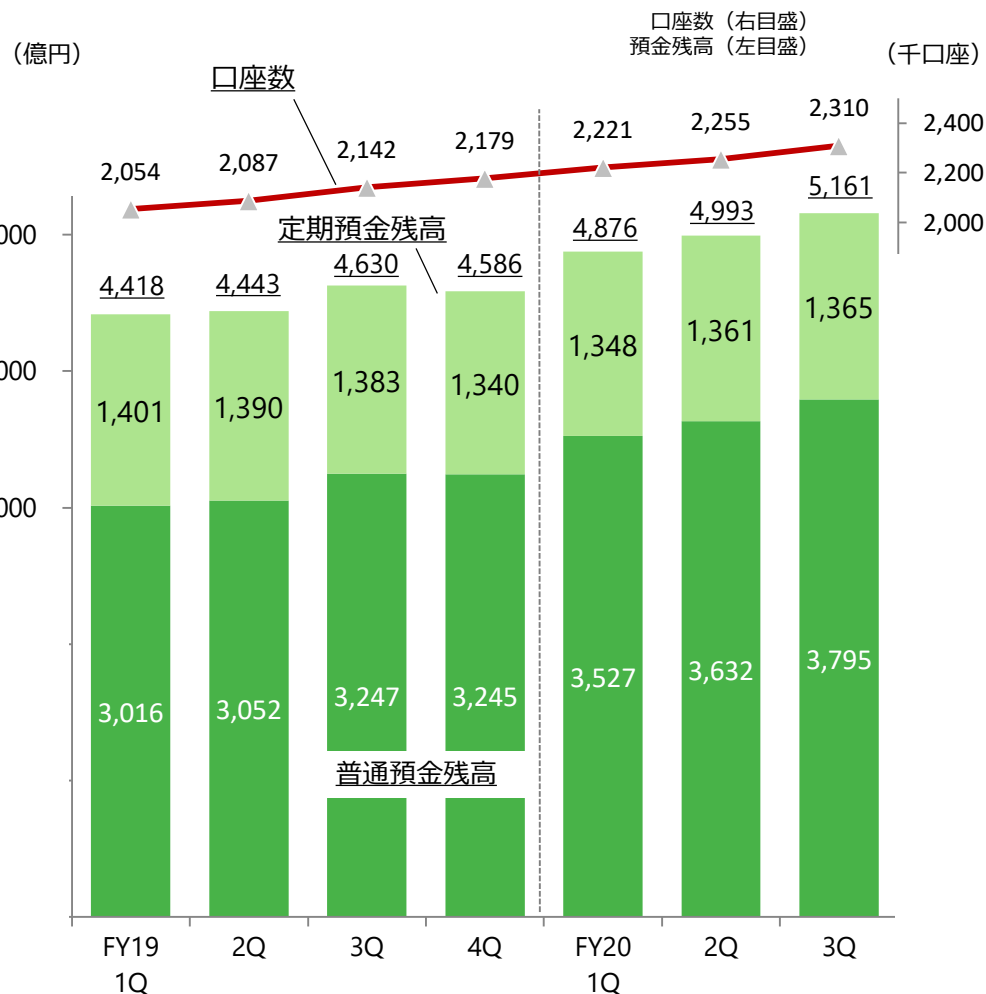


利用可能な●●Payチャージ例



キャッシュレス・消費者還元事業

### 口座数と預金残高（個人）



### 個人向けローン

	19年 12月末	20年 12月末	20年度末 計画
期末 残高 (億円)	228	233	260

### 海外送金サービス

	19年 12月末	20年 12月末	20年度末 計画 *
取引 件数 (千件)	869	949	1,200

\*含セブン・グローバルレミット提供サービス

### デビットサービス

	19年 12月末	20年 12月末	20年度末 計画
取引 件数 (千件)	10,196	13,165	16,740



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。